

日本共産党県議会議員

見える
身近な
みんなの県政を



みわ由美 ホット通信

第12号 2009年10月23日
日本共産党みわ由美事務所
Tel 047-349-1544 Fax 047-349-2293
〒270-2252 松戸市千駄堀1810-2

HP「みわ由美笑顔通信」
<http://www.miwa-3838.jp/>
携帯 <http://www.just.st/306410/>



9月30日の県との交渉

8月12日、日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会と党松戸市議団、みわ由美県議は、森田健作知事宛に、「松戸二病院閉鎖による医療の後退を許さず地域医療充実と雇用の確保を求める要望書」を提出。特に次

- ① 患者や医療が必要な方たちの不安を一日も早く取り除くため、万全の手立てを講じよ。
- ② 医療従事者への給与未払い解決や雇用確保のため、関係機関への働きかけに全力をあげよ。
- ③ 東葛北部圏域の医療体制に生じた1

また松戸市長宛にも、要望しました。
(2面に続く)

知事に要望書提出——8・12

8月12日、日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会と党松戸市議団、みわ由美県議は、森田健作知事宛に、「松戸二病院閉鎖による医療の後退を許さず地域医療充実と雇用の確保を求める要望書」を提出。特に次のことを要望しました。

松戸市の民間2病院Ⅱ五香病院・新八柱台病院の8月1日からの突然の「閉院」により入院(120床)・

外来患者(一日約5百人近く)や地域住民の行き場がなくなり、医療従事者の全員解雇・給与等不払い問題も起きるなど、地域医療と雇用に重大な支障が生じていました。その後、「ごく一部の診療が「再開」されたものの、依然、不安と混乱が広がっています。この問題で日本共産党はこれまで2回県と交渉してきました。

近くに安心できる病院早く！

松戸の民間2病院「閉鎖」問題で2回の対県交渉

県は責任ある監督・指導を

9・30 第2回対県交渉

9月30日の2回目の県との交渉には、伊藤余一郎・高橋たえ子両松戸市議、東葛ユニオン労組役員、医療関係者や地域住民とともにみわ由美県議が参加しました。

最近になって五香病院の方は外来診療が一部再開したと聞いている」と

と県当局は報告。

参加者からは、「五香病院はある裁判で敗訴し、多額の借金があると聞くが再開に支障がないのか」「閉院のため、鎌ヶ谷の病院へタクシーを利用するな

この日「二つの病院は休止状況にあり廃止されたわけではない。」

ど、費用がかかり困っていた。再開すれば助かる」「経営問題は大丈夫なのか、県はよく調査し、指導すべきだ」などの意見や要望が出されました。

これに対し県は、

「病院再開の資金計画を提出するよう求めている。入院も再開すると言ってきたいるが、二度と混乱を生じさせないよう指導していく」と答えました。

等の不払いを聞き、心からの憤りを感じました。また諸問題が未解決のままの診療再開に、多くの関係者が、不安や疑問を投げかけるのも当然です。

民間病院の開設を許可し監督する権限をもつ県は、「あつてはならない事態がなぜ起きたのか、二度と起こさないためにはどうあるべきか」を真剣に考え、解決に全力を挙げるべきです。人の命がかかっていますから曖昧な対応は許されません。

突然、遠くの病院に行くのは辛い」「老々介護で、遠くに通えず、治療をやめた」などの高齢者の声、2百人近い医療従事者の全員解雇や給与

●みわ由美議員談●

事者の全員解雇や給与

日本共産党は、今後とも「地域住民や医療従事者の誰もが、安心できる病院が欲しい」という待ったなしの願い実現に、全力を挙げます。



県会議員
みわ由美



伊藤余一郎市議



中村たか子市議



うつの史行市議



高橋たえ子市議



高木健市議

お困りごと何でも相談

Tel 349-1544
党市議団控室
(Tel 366-7403)

